



アース・エコ

子どもたちと地球の未来のために

アース・エコ
メールマガジン No.7-6
2016年6月21日(夏至)
特定非営利活動法人
アース・エコ事務局 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

昨夜から梅雨前線と前線上の低気圧の影響で、西日本では大雨となっています。数年に一度程度しかないような大雨(神奈川県では1時間100ミリを超える雨)が観測や解析されると「記録的短時間大雨情報」が発表されます。これは災害の発生につながる危険があるため、早めの避難を心がけてください。



気象庁提供

研修旅行 ～東日本大震災被災地を巡る旅.Ⅲ～

6月15日(水)～16日(木)、岩手県と宮城県に研修旅行に行きました。参加したのはアース・エコの会員8名。

最初、遠野市立博物館で遠野物語の世界を垣間見た後、釜石市鶴住居(うのすまい)を通り、岩手県上閉伊郡大槌町の「大槌たすけあいセンター」を訪問し、ここでNPO 法人遠野まごころネット※理事長の臼澤良一さんからお話を聴かせていただきました。

ご自身が津波に巻き込まれた3.11の体験、復興への取り組み、5年間の被災者の心の変化、現在進められている復興工事、防災工事と地元被災者の気持ちのズレ

や、自然が持つ再生力など、1時間以上にわたって淡々と語られるお話に思わず聞き入ってしまいました。

この日の夜は災害ボランティアなどが良く利用している「小川旅館絆館」に泊まりました。

翌16日は、陸前高田、気仙沼、南三陸町(防災対策庁舎)、石巻(大川小学校)、東松島(野蒜駅)などを見学しました。どこへ行っても嵩上げ工事で道路工事ばかりが目立つ景色。そこから受けたそれぞれの印象や想いを同行したメンバーが綴ってくれました。 [桑原]

※詳しくは <http://tonomagokoro.net/>



大槌たすけあいセンター



臼澤理事長(中央)と記念写真



宿泊した小川旅館絆館

盛り土に埋れゆく震災の遺構・・

一昨年の岩手県の久慈から宮古にかけての研修視察、昨年の福島県の岩城から相馬にかけての被災の現状を視察し、今回の研修は集大成として岩手県の大槌から釜石、陸前高田、気仙沼、南三陸、そして石巻を経由した仙台までの視察研修でした。一昨年に見た「たろう観光ホテル」を含む田老地域の震災被害に驚き、2回目の研修では津波に加え放射能被害の恐ろしさ、その悲劇を実感し、今回は行く先々の殆どの港では多くのクレーンやブルドーザーによるかさ上げの為に積み上げられた盛土の高さや延々と続く防波堤構築に驚き、これからこれらの港町はどうなるのだろうか。

今回は、TV 等でも報道されている陸前高田の「奇跡の一本松」や、南三陸



南三陸町防災対策庁舎と
かさ上げの盛土

の「防災対策庁舎」をみる事ができたが、そこはこれらの貴重な遺構が周辺の盛り土によって囲まれ、埋もれ、失われてしまうのでは…との思いになった。

研修の集大成として、3回の研修で得た体験や教訓から今後自分は何が
でき、どう行動すればよいのだろうか？

最後に、遠野のNPO法人理事長のこたば「5年過ぎても、7割の方はまだ
仮設住宅くらしでこれが被災地の現状。そして現地を訪れて現状を見ていた
だいたことが、被災地皆さんのなによりの喜び」の言葉が心に響きました。

[長澤]



鶴住居の嵩上げ現場

三陸海岸の「復興」

6月16日早朝、宿泊した岩手県大槌町の小川旅館を出発し、国道45号
線を宮城県東松島市までほぼ海沿いに南下した。走行ルート上にある殆どの
市町の沿岸部で、「復興」事業の柱である地盤かさ上げ工事と巨大防潮堤の
建設が進められていた。テレビ報道等で見たことはあったが、途轍もない大
工事を目の当たりにして茫然とさせられた。また、町の再生というより作り変
えの状況や美しい三陸海岸が車窓から見えなくなった現状から「復興」とは
何？を改めて考えさせられた。広辞苑によると「衰えていたものが、再び盛ん
になること」とある。前述した工事の完成が「復興」ではなく完成後どうなるか
が重要だと思う。文字通りの「復興」が叶うよう祈りたい。

[鈴木]



いたる所で進められる道路工事

大槌(おおつち)町「立ち上がった人」とご対面、握手、感動！

大震災時のニュースで観光船が2階建ての民宿の上に乗りに上げた写真を
覚えていますか。それが大槌町。町長はじめ数十名の職員が亡くなり、町政
は麻痺、生活基盤が崩れ大混乱をきたしました。

その中でいち早く結束して復興プロジェクト「立ち上げれど真ん中 おおつ
ち」を立ち上げ、全国的に応援を求めて、その支援金をもとに復興の足掛かり
である「ど真ん中おおつち協同組合」を立ち上げ時に、新聞・テレビで知り、応
援してきた者として、今回、挨拶することを楽しみにしていました。しかし休日
でお会いできず、無念に思っていたところ、翌日早朝に芳賀理事長が名産の
「わかめ」をたくさん持って旅館を訪ねて来ていただき、大感激。頑張ってきた
分厚い手に強いオーラを感じました。

しかし復興は道半ば、これからが更なる厳しさがあると思います。皆さんの
更なる発展を祈るばかりです。

今回の学びは「現地の方と接すること」「具体的に行動すること」でした。

[児玉]

旅館を訪ねて来て頂いた
芳賀理事長(左)と

昨年「復興応援キリン『絆』プロジェクト」の一環で建設された事務所。
建物内には新商品開発室、コミュニ
ティスペース、リアルショップが。

お願い:ホームページを覗き、美味しい「海の幸」を食べて応援しましょう。

※ど真ん中おおつち協同組合 <http://domannaka.com/overview.html>

大槌町地場産品復興プロジェクト <http://www.otsuchi.jp/>

緑豊かな入り組んだ海岸線

緑豊かな入り組んだ海岸線、点在する小さな港。そ
の美しくまた心癒される景観に惹かれて十度以上も三
陸地方を旅してきました。5年前迄はその美しい自然と
共に暮らしておられた人々の生活の場が跡形もなく失

われてしまっているのを目の当たりにして、報道を通じて
知っていたとはいえ、それは想像を遥かに超えたもので
した。亡くなられた方、ご遺族、生活の場を失われた方々
の哀しみ、無念さが痛切に感じられました。今は復興工

事のためにいたる所で堤防や土盤の嵩上げ工事が進められ、海岸線は高い堤防で囲われ、かつて平地であった場所には数メートルから十メートルを越える赤茶色の台地がそこかしこに造成され、無機的で一種異様な感じを受けました。勿論、まだ工事の途中で、どのような街づくりになるのか、最終的な姿を思い描く事は出来ませんが、自然と共にあった原風景をなるべく残っ

て欲しいと想うのは、災害の当事者で無い者の無責任なセンチメンタリズムというものでしょうか。 [岩澤]



越谷市内の小学校「エコフェスティバル」

6月18日(土)、埼玉県越谷市の小学校の校内イベント「エコフェスティバル」に参加しました。なぜ埼玉県の小学校？ 昨年12月、エコプロダクツ2015に出展した際に、この小学校のフェスティバル担当の先生がアース・エコのブースに来られ、名刺交換したのがきっかけで今回の参加になりました。

このフェスティバルでは、20の団体や企業が教室にブースを構え、各学年5、6名ずつ35人の縦割グループで児童が巡回して来て授業を受けます。1年生から6年生が一緒に授業を受け、皆が学んで楽しめるようにといろいろ考えましたが、結局「エコかるた取り」にしました。しかし低学年と高学年が同じかるたを取り合う訳にもいかず、学年を考慮した5グループに分かれて競ってもらいましたが、本来の趣旨には沿っていませんでした。

30分の授業を4回行いましたが、各回最初の20分はエコかるた取り、後の10分は低学年、高学年に分かれてエコについてのお話を聞いてもらいました。ゲームを楽しみながらエコを学んでもらえたと思います。 [桑原]



かるたを取りに熱中の余り、頭同士がぶつからないよう、両手を頭の後ろのポーズからスタートします。

6月例会・合同勉強会を開催しました

6月8日(水) かながわ県民センター会議室で6月の理事会・例会・合同勉強会を開催し、会員など16名が出席しました。

6月理事会

平成28年度の総会でアース・エコの収支バランスの改善が課題として取り上げられましたが、対策を協議した結果、当面は会員の皆様に寄附を呼び掛けることにしました。

6月例会

今年度の活動計画のうち、日程が確定した13件の活動について参加者の調整等を行いました。また5月に実施した「かながわエコ10フェスタ」を振り返り、来年に向けての課題等を話し合いました。

合同勉強会 (環境学習リーダー会エネルギー部会と合同開催)

● 研修旅行

6月15日(水)、16日(木)に開催する宮城県、福島県への研修旅行について、幹事から最終の説明がありました。

● 積算電力計による消費電力の可視化

最近、積算電力計を入手した会員から、電球や家電製品の消費電力を積算電力計を使って可視化できないかと考えて試作したデモ装置の発表がありました。積算電力計の中の円盤が回転する速さを見て、消費している電力の多寡を感じることができます。



積算電力計



電力計を使ったデモ装置

● 神奈川県が制作したビデオ

神奈川県が小学生を対象に制作したビデオ「かながわ環境スクール～見て、考えて、行動しよう! 私たちの未来のために～」を見ました。内容は地球温暖化、エネルギー、資源循環、生物多様性をテーマにしていますが、出前授業などで活用できないか検討しました。 [神奈川県ホームページより](#)



さがみはら環境まつりに出展します

今年も「さがみはら環境まつり」が開催されます。今年のテーマは「地球の未来のために、今できること」です。アース・エコも出展します。

皆様のご来場をお待ちしています。

(詳しくは→<http://eic-sagamihara.jp/festival/>)

主催者 さがみはら環境まつり実行委員会

日時 平成 28 年 7 月 3 日(日)午前 10 時 30 分～午後 4 時(予定)

場所 ユニコムプラザさがみはら(相模原市立市民・大学交流センター)

bono 相模大野 サウスモール(<http://unicom-plaza.jp/>)



これからの活動予定

- ◇ 7月3日(日) さがみはら環境まつり、ユニコムプラザ
- ◇ 7月27日(水) 夏休み環境学校、相模原市立橋本公民館
- ◇ 8月6日(土) エコ講座、夏の省エネ、相模原市立城山公民館
- ◇ 8月9日(火) 夏休み子ども講座、横浜市白山地区センター
- ◇ 8月21日(日) 緑区親子エコ講座、長津田地区センター

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

7月の例会・勉強会

7月13日(水) 13:30-16:30 かながわ県民センター705会議室

会員の皆様のご参加をお待ちしています。

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか?

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。 ⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中!

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています。

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com